

「魅力ある在宅保健師会を目指して」

静岡県在宅保健師の会「つつじ会」会長 鈴木富士子

静岡県の健康寿命延伸の要因は…！？



**地場の食材が豊富で
食生活が豊かである**

無形文化遺産「和食」
日本一の食材数439品目



全国一のお茶の産地で

日ごろから県民がいつも
お茶をたくさん飲んでいる

本日お伝えしたいこと

- 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」の概要
- 「つつじ会」会員の活動の状況
- 「つつじ会」会員の思い
- 「つつじ会」の目指すもの
- 「つつじ会」の課題

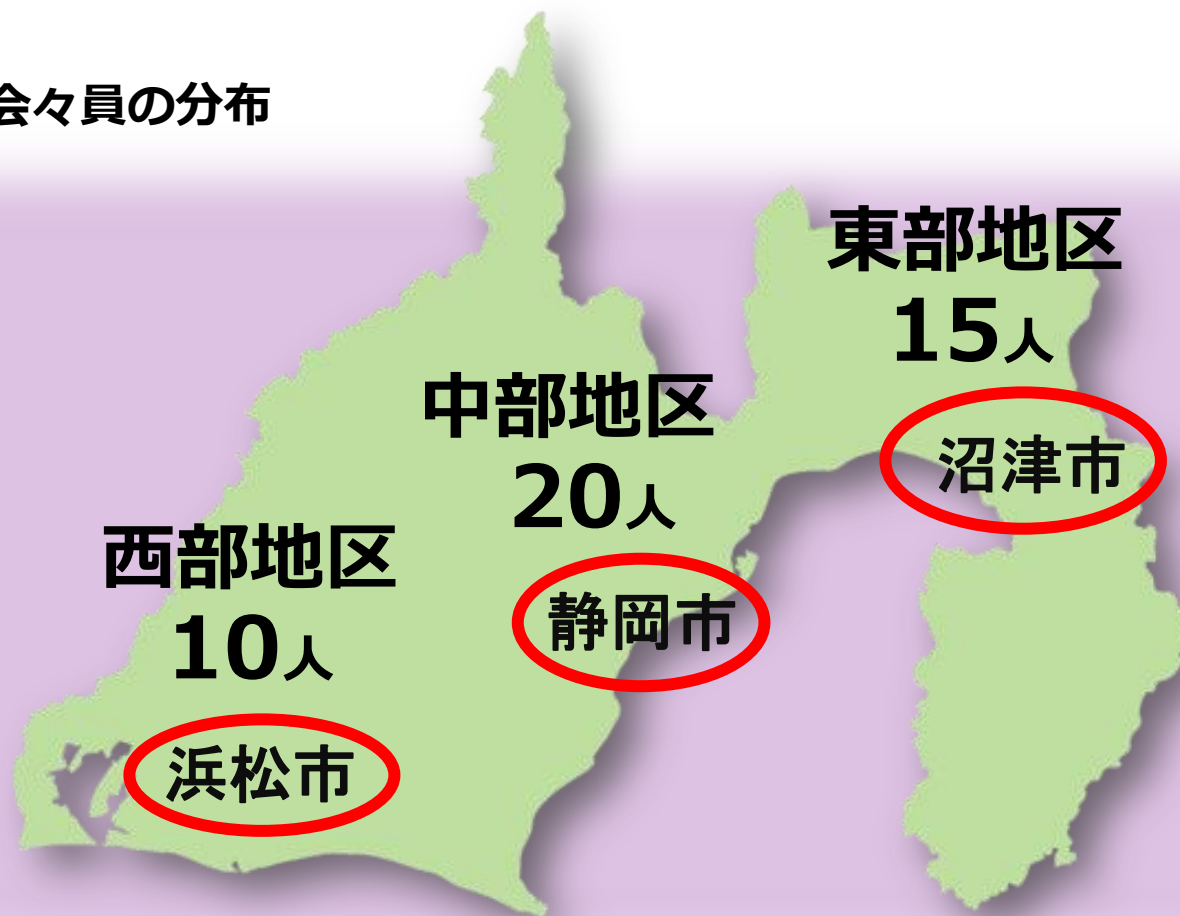
1 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」の概要

(1) 組織の概要

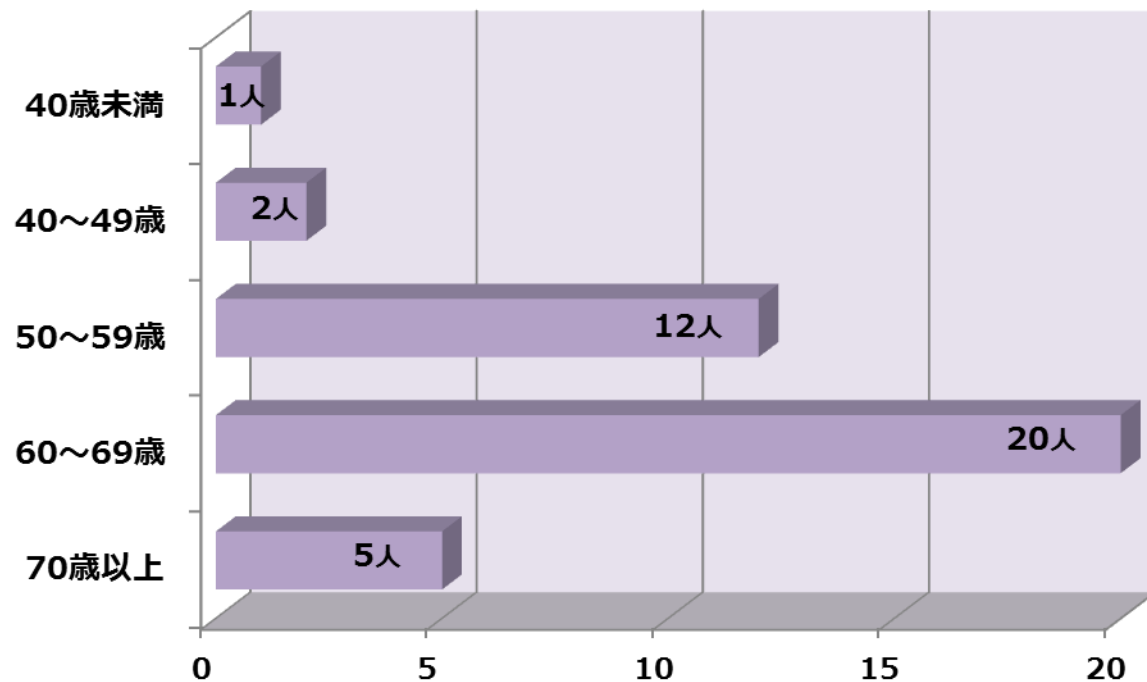
- 会 員 静岡県内に在住する在宅保健師
- 会員数 45名
- 目 的 保健師の職能を活かし、地域の保健・福祉活動、
国保保険者の保健事業に寄与する
- 事務局 静岡県国民健康保険団体連合会

今年、**設立27周年**を迎えました

(2) つつじ会々員の分布



(3) 年齢階層別人数 (会員数40名)



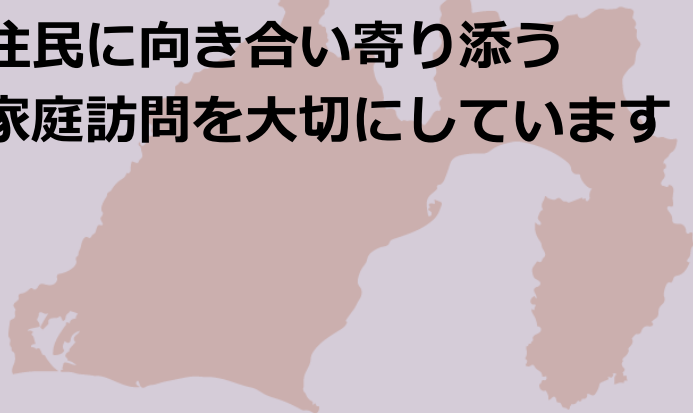
「つつじ会」は“なかよし会”ではない！

- 会員の職種はすべて保健師職
- 「つつじ会」には、75歳定年制がある
- これまで培ってきた保健師職能を活かし、退職後も地域に貢献したいとの熱い思いで、国保の保健事業を中心に積極的に活動してきた
- 先輩保健師から受け継いだ公衆衛生看護活動を基盤に、自己研鑽に励むと共に、後輩の人材育成を支援する

(4) 活動の特徴

家庭訪問

- ・ **四半世紀にわたり、在宅保健師が東西155kmに及ぶ静岡県内の隅々まで足をはこび、住民に向き合い寄り添う家庭訪問を大切にしています**



保険者支援（委託を受けた業務 他）

- ・ 特定保健指導、乳幼児健診などの市町村業務
- ・ 地域における各種ボランティア活動

研 修

- ・ 各分野における最近の情勢についての研修会 等

学 習 会

- ・ 保健指導技術のスキルアップ
- ・ 訪問事業における事例検討 等

先輩保健師はビジネスチャンスを逃さなかった

- 家庭訪問や病類別疾病統計インプット記入事務等、保険者が必要と思われる保健事業に積極的に取り組んできた
- 特に家庭訪問は、自分達を育ててくれた市町村への恩返しと考え、つつじ会の最重要事業として、これからも継続実施していきたい

家庭訪問事業の変遷

時代背景に即した事業を展開



「特定健診受診者のフォローアップ等家庭訪問事業」への協力

国保保険者が実施した特定健康診査の結果、受診勧奨判定値を超えたにもかかわらず医療機関を受診していない者に対し早期に医療機関へ受診勧奨することが重要である。

このことから、受診勧奨の必要な者に対し家庭訪問を実施し、「かかりつけ医」への受診勧奨を行うとともに、必要に応じて生活習慣の改善に向けた助言を行い生活習慣病の発症予防・重症化予防を図ることを目的とする。

公衆衛生看護学の立場から考える本事業の意味

京都看護大学 看護研究科公衆衛生看護学 教授 三輪 真知子



本事業は特定健診受診者の中で医療機関未受診者に対して家庭訪問を通して重症化予防を目指した活動である。**地域住民一人一人が生活する場に出向く家庭訪問は保健師の活動の根幹**であり、予防活動の原点でもあるが行政保健師は家庭訪問に行けないジレンマを感じながら活動している。

そんな中で在宅保健師が対象者全数に家庭訪問を実施したことは、対象者（住民）の生活環境など社会経済環境要因の把握ができ、**一方的な受診勧奨ではなく、住民が置かれた生活実態や意識を踏まえながら住民に寄り添った支援**をすることで、市町保健師の活動の隙間を埋める活動となり、**地域住民の疾病予防や健康寿命延伸に大きな貢献をした事業**と言える。

また、対象者からは「あなたに会えてよかった」、行政からは「訪問記録はわが町の財産です」と伝えられ、また、在宅保健師自身は「住民から保健師の仕事を理解してもらったり、感謝されたり、励まされた」と対象者、行政（保健師含む）、在宅保健師の3者が好循環の支援関係となり、**住民、行政、在宅保健師が協働して重症化予防に取り組むことができています。**

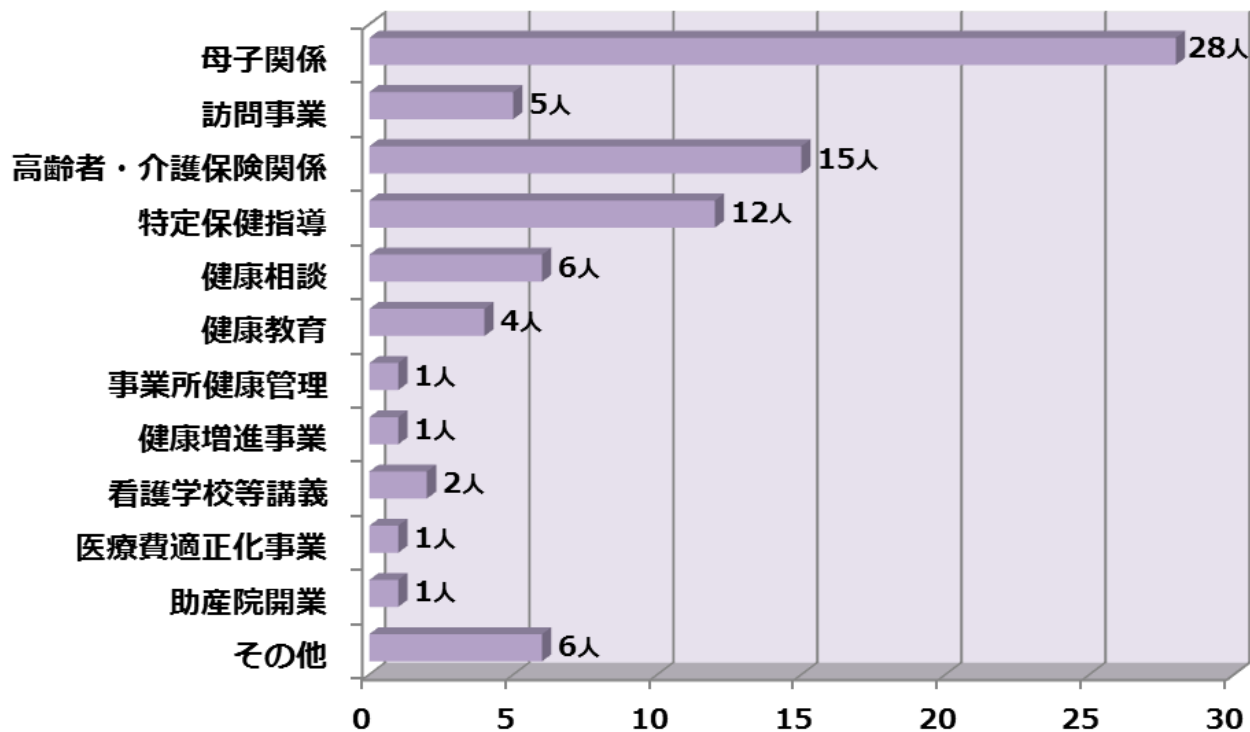
以上から、本事業の意義は行政との連携を図りながら、在宅保健師が保健師の原点となる活動をしたことで、住民の重症化予防への貢献をしたこと、さらに、**個人から集団、地域全体へと健康で長寿なまちづくりに発展していく素地を創った**ことにある。

2 静岡県在宅保健師の会「つつじ会」の会員状況

(1) 活動の概要



(2) 業務別従事状況 (複数回答)



(3) 在宅保健師会を取り巻く環境の変化

- ・ 会員の高齢化
- ・ 退職保健師における再任用等の増加
- ・ フルタイム従事者の増加

会員の減少

新規入会者の減少

(4) 地域に求められているもの

- 市町村の保健師は、生活習慣病予防対策、虐待予防対策、危機管理対策、さらには地域包括ケアシステムの構築など、地域特性に応じた専門性の高い活動がますます求められている



- 市町村は、自立した在宅保健師を求めている



即戦力となる保健師

(5) 在宅保健師が抱く悩み・疑問・困りごと！

- 新しい知識や情報を学習する機会が少ないため、保健師としての業務に自信が無く、不安である
- 困難ケースの対応について、現職保健師に相談したり、スタッフ全員で話し合ったりする機会が少ない
- スポット的な仕事のため、事業の全体像や制度の流れがわからず、仕事に不安を持っている
- これまで培ってきた保健師職能を発揮できていないように思う
- 現職保健師の悩み事や相談を受けるが対応に苦慮する

3 在宅保健師が求めている事業の展開

(1) 在宅保健師が抱える不安を解消するために

- 毎年、年度当初に会員の活動状況や今必要としている知識などについて**アンケート調査**を実施
- 集計結果を基に、会員が抱えている**タイムリーなニーズ**を取り入れ、学習会の内容や視察先を役員会で検討

スポット的な仕事に不安を持っている会員が多いため、その不安を解消するために市町村現場で即役立つ内容の研修会や視察を企画・実施している

(2) 静岡県国保連合会との連携・協働

- 27年の保険者支援の歴史の中で、さまざまな出来事を連合会とともに乗り越えてきた
- 事務局は、「つつじ会」の求めるニーズに対応できるよう人員の配置・予算の確保
- 「つつじ会」の活動に対するの予算措置（平成30年度）

事業	金額
研修会等活動費 ※1	円
家庭訪問事業 ※2	円

※1 連合会の一般会計で措置（連合会等補助金 在宅医療等推進支援事業 1/3）

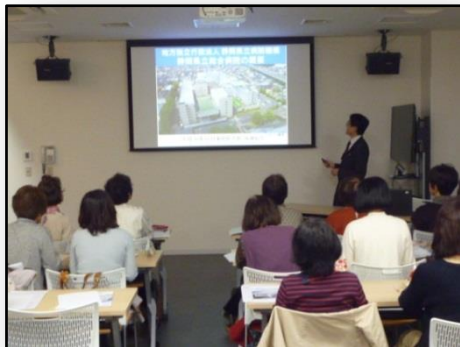
※2 連合会の一般会計で措置（連合会等補助金 特定健診等の適正受診促進事業 1/3）

（「つつじ会」会費 円/年）

(3) 研修会等の様子

現場での不安解消のための知識・技術の習得

静岡県立病院への視察
先端医療棟の機能や「きこ
えとことばのセンター」の
取組みについて学習した



袋井市の取組み
丁寧な個別指導等、住民に
寄り添った保健事業につい
て、PDCAを意識した取組み
方について学習した

三輪先生によるGW

保健師活動指針に基づく、
地区活動を踏まえ、活動の
強化や地域特性に応じた健
康なまちづくりの重要性に
ついて学習した



会員同士の情報交換・交流



会員同士の活動報告・情報交換

- ・ 普段の業務内容や業務上の問題点等を発表し合い、情報の共有及び解決策などの検討を実施
- ・ 会員による研修会などの伝達講習を実施し、制度の動向や保健指導等に係る技術的手法等を共有する



日本公衆衛生学会への出席

多職種との連携・情報交換



多職種との連携により、公衆衛生を基盤とする地域づくりの連携や協働活動に寄与する

(4)地域で“いちばん輝いている保健師さん”と言われて

- 在宅保健師だから出来ること
- 自信を持って市町村の事業に協力できること
- 住民の立場に立って、対象者に寄り添えること
- 生活者の目線で解決策を導き出すことができること

会員のスキルアップにより市町村の事業に貢献



会員自身が市町村で活動する中で、新会員の入会を勧めている

(5) 「つつじ会」における運営上の課題と展望

- 会員数の確保と質の担保
- 会員の力量の格差是正
- 事務局と協働した自主的な組織運営

豊かな経験と専門的な知識・技術、そして保健師マインドを繋ぎ、静岡県在宅保健師として時代に則した保健師活動を構築していきたい



御清聴ありがとうございました

静岡県在宅保健師の会「つつじ会」会長 鈴木富士子